

2019年度未来ファンドおうみ助成事業 の募集が始まります！

- ◆応募受付期間：2018年11月20日(火)～2019年1月15日(火)
- ◆説明会：11月下旬～12月中旬
- ◆詳細：11月中旬にホームページでお知らせします。
- ◆募集案内（募集要項）と申請書の入手方法
11月中旬より、淡海ネットワークセンターのホームページからダウンロードできます。淡海ネットワークセンター事務所でも受け取れます。

ファンドレイジング入門セミナー2018

～社会を変えるためのファンドレイジング戦略の立て方～

今、社会に求められているのは、ファンドレイジングだけ上手い団体ではなく、また想いだけ強い団体でもありません。今回のセミナーは、「5W1H」のフレームを使って、社会的な成果を最大限に出せる組織になるためのファンドレイジング戦略の立て方について学ぶセミナーとします。

◎日時 11月25日(日) 13:30～16:30

◎場所 ピアザ淡海 205会議室

◎講師 山元 圭太氏(合同会社 喜代七 代表)

◎主催 淡海ネットワークセンター

『おうみ良うなる！元気商品プロジェクト』

このプロジェクトは、未来ファンドおうみへの寄付を募るための一環として取り組んでいます。

企業や団体と当財団がWin-Winの関係で寄付つき商品をつくり、消費者が寄付つき商品（おうみ良うなる！元気商品）を購入することにより、未来ファンドおうみ「びわ湖の日基金」へ寄付されます。

この基金は、琵琶湖と琵琶湖につながる河川や森林などの保全に係る実践活動や調査活動などを助成するものです。そして想いや願いを実現し、おうみ（滋賀）の地域社会をもっと良くしていこうというものです。このプロジェクトに参加して、おうみ（滋賀）をより元気にしていきませんか。「是非うちの商品も！！」と思われた方は、ご連絡をください。

心よりお待ちしております。 【TEL:077-524-8440】



『おうみ良うなる！元気商品プロジェクト』

一般社団法人 比良里山クラブ

比良里山クラブ（大津市）が販売しておられる「ヒラペリラ」及び「ヒラペリララグジュアリー」をご購入いただくと、売上代金の一部が淡海ネットワークセンターの未来ファンドおうみ「びわ湖の日」基金に寄付され、琵琶湖の環境保全に関わる実践活動および調査活動への助成事業に充てられます。



「ヒラペリラ」は今年、発売 10 周年を迎え、滋賀県比良地区の自然豊かな環境の中、里山保全と地域文化を育てる中で生まれました。理念は、「正直に身体が喜ぶものをつくる」、目的は、「地域と一緒に取り組み、ともに成果をあげる」です。水のほか、炭酸やミルク割り、お酒のパートナーとしても美味しく召し上がれます。どちらも健康・美容にもよく、滋賀の環境保全に還元できる商品です。ご家族やお仲間でお召し上がりください。



取り扱い店 : ヒラペリラ取扱店 検索

2018年 助成団体の活動

びわ湖の日基金

夢・びわ湖



採択事業は、「琵琶湖赤野井湾でイケチョウガイの調査育成と市民への啓発活動事業」です。汚濁が進んでいる赤野井湾の再生、活用に向けて、各方面で努力がされています。また、かつては真珠養殖が盛んに行われていたが、1980年代以降事業は減少しています。今回の事業は、市民とともに赤野井湾の現状を観察し、イケチョウガイの調査育成と水質調査、環境調査を行うため、船で赤野井湾に出て現状を見ます。

下船後、湖魚の料理の試食、琵琶湖の現状についてパワーポイントを使った学習と、オペ後4年目の貝を開き、中の状況を見ます。

事業実施によって、赤野井湾で淡水真珠の生育することを実証することにより、イケチョウガイによる「びわパール」の復活に繋がるとともに、汚濁の進んだ赤野井湾で淡水真珠が育つことから、汚濁水域であるという赤野井湾のイメージを払拭し、改めて琵琶湖の素晴らしさを市民に発信し、同時に琵琶湖の水環境に対する意識を高める機会の提供が期待されています。



2018年 助成団体の活動

ナカザワNEOフレンドシップ基金

特定非営利活動法人 長浜市民国際交流協会

採択事業は、ながはまの未来につながる子どもを創る「多文化・親子育ちプログラム」です。

外国にルーツをもつ児童・生徒の中には、学びたくても親が遅くまで働く理由などで学ぶ機会がない、また学校生活のサポート等を家庭で十分に受けられないなどの課題があり、地域のボランティアで学習面のサポートを行う事業を2017年度から始めています。

現在、毎週金曜日の夜に開催していますが、子が日本の社会で学び育つために必要な知識や情報、将来に向けての目的意識は親子ともに低いのが現状です。子が低学年から基礎学力をつけることが子の将来にはとても大切だということを親に認識してもらったり、親子でともに将来への道を見つけ、取り組めるきっかけとなるよう、サポートする必要があると考えています。このため、①外国にルーツをもつ児童・生徒への学習支援と居場所づくり、②親子で子の将来への道や目的を見いだせるきっかけづくりを行っています。



湖国文学活動応援むらさき基金

近江八幡市郷土史会

採択事業は、「近江八幡市内の神社を網羅した歴史記録書籍発刊および調査事業」です。市内各地には集落ごとに神社や寺院が必ずあります。神社や寺院は、かつては、その集落の運営、活動の中心舞台であり、なかでも神社は大きな権威を持っていました。しかし、今日では各神社とも、それにかかわる人々が少なくなり、だんだんとその維持、祭りの継続に大変苦労しておられます。そのため由緒や伝承が分からなくなったり、祭りが取りやめになったりしています。今のうちに神社の伝承、祭りなどについて聞き取り、調査して、市内神社を網羅するかたちで記録に残す必要があります。

当団体では、地域住民、市内外の人々を対象にして、市内神社の聞き取り調査をし、さらに地理的、歴史的に検討し、地域住民を交えた研修会などを行っています。そして、この調査の取りまとめを行い、今年度は市内神社を網羅した本を出版することになっています。



2018年 助成団体の活動

げんさん食育NPO基金

特定非営利活動法人 滋賀自閉症研究会たんぽぽ

採択事業は、「自閉症児が楽しく参加できる料理教室」です。自閉症の人たちは、馴染みのある食べ慣れたもの以外を口にする抵抗があることが多くなっています。大きな原因の一つとして、その料理がどんな材料から作られているかが分からないからです。その結果、食の範囲を狭めています。

この活動は、自閉症の人たちが、自分たちの手で調理することによって、食への関心を高めることに繋がっていきます。自分の好きなものを自ら調理することで、食の楽しさを知ります。他人からの強制ではなく本人の楽しみとすることで調理への関心を持ち、一通りの工程をひとりでやりきる活動を経験することで自信をつけていくことに期待されています。

食は生きることのベースであり、食べる楽しみは生きる喜びにもなります。手の込んだ料理を作る楽しさとともに、少しの手間でより毎日の食事を楽しみに出来るような支援もしていきたいと考えています。



積水化成品基金

NPO法人 環境と農業の融合を考える会 鹿深の杜

採択事業は、「環境・景観保全と地域社会の活性化を目指して」です。農業の担い手の高齢化による耕作放棄地が増大している中、獣害による作物被害等も深刻化しています。再利活用している耕作放棄地を守り、里山整備や周辺の景観を保全しながら、地域への貢献や交流を図りたいと考えています。そのためには、第一に獣害対策を行い、市民農園やオーナー田や里山周辺の環境対策を行い、会員や地域の方々に安心して来ていただける「杜」を目指しています。

獣害対策としては、当NPO会員をはじめ、市民農園会員、オーナー田の会員などみんなが力を合わせて、安全な方法で電気柵を設置します。

また、二次対策として金網フェンスで周辺を囲い込み、その後はこまめに除草作業を行い、獣が近づけない環境を作ります。10月20日（土）には、積水化成品社員さんにもボランティアとして参加して頂き、秋の収穫祭を開催し、子ども食堂に携わっている人達、地域住民、高齢施設の方、会員など様々な年齢層の方が集まり賑わっていました。



お問い合わせ先

淡海ネットワークセンター（公益財団法人 淡海文化振興財団）

〒520-0801 大津市におの浜 1-1-20（ピアザ淡海2F）

TEL：077-524-8440、FAX：077-524-8442、e-mail:office@ohmi-net.com